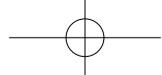


5

基本目標

“人がふれあうまちをつくる”

基本目標5 人がふれあうまちをつくる



1 観光交流の推進とかぬまのイメージアップ

現状

- 本市は、水と緑の豊かな自然と先人が培ってきた歴史や文化に基づく貴重な地域資源があり、また、「まちの駅“新・鹿沼宿”」など、新たな観光拠点も誕生し、誘客のための条件が徐々に整いつつあります。
- 観光情報をはじめとする鹿沼の魅力情報をインターネットやケーブルテレビ・ラジオ・かぬま特使などにより、発信しています。
- 観光ニーズは多様化しており、従来の見るだけの観光から、地域を理解し、そこに居住する人々と交流を図ることで、充足感を得ようとする形へと変化しています。
- 本市の人口は、少子化などの影響により、平成13年3月をピークに減少が続いていますが、観光施設の充実などにより交流人口の増加の基盤ができつつあります。

課題

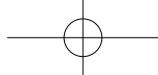
- かぬまのPRを強化し、鹿沼の歴史や伝統文化、特産品などを活かした総合的なPR活動の展開が必要です。
- 市民一人ひとりがふるさとに誇りを持ちながらPRの主体となれるよう、市民への情報提供も重要です。また、おもてなしの心により鹿沼の魅力を発信しなければなりません。
- 各施設の運営改善や維持管理を適正に効率化することが重要となっています。
- 本市が将来にわたり活力を維持していくため、交流人口を増加させる各種施策を推進する必要があります。

基本方針

- “かぬま”のイメージアップを図るため、他自治体や団体との連携交流を図りながら、情報を市内外に効果的に発信します。
- 新たな観光交流拠点である「まちの駅“新・鹿沼宿”」を中心として、市内回遊を促進する観光案内機能を充実させ、来訪者だけでなく市民への情報提供も充実させるなど、関連する団体や市民との協働による観光振興を図ります。
- 歴史や伝統文化、それらに携わる人々やかぬまブランドなど、地域資源を活用した総合的な観光振興を推進します。
- 交流人口の拡大のための施策などを展開しながら活力の維持発展に努めます。



鹿沼ぶっつけ秋祭り



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) かぬまのイメージアップの推進

① 新たなイメージアップ戦略

◎ 501 ①-1

PR戦略の推進

- ・鹿沼市の総合的なPRの推進
- ・インターネットやテレビ・ラジオなど、様々なメディアやツールを活用した総合的なPR活動の展開

(2) 観光PRの推進

① “かぬま”PRの推進

◎ 502 ①-1

観光の総合PR推進 絆

- ・“かぬまのいいもの”の総合的なPR推進
- ・マスメディアやインターネットの活用
- ・観光キャンペーンへの参加
- ・広域連携による観光PR
- ・フィルムコミッション事業の充実
- ・「鹿沼ファン」の拡大

◎ 503 ①-2

食の充実とPR

- ・鹿沼の食のPR
- ・鹿沼そば・かぬま和牛・鹿沼こんにやくなどのPR
- ・新たな食の発掘・創造

◎ 504 ①-3

物産の展示・販売によるPR New!

- ・「東京スカイツリータウン」、「まちの駅“新・鹿沼宿”」内の展示販売

◎ 505 ①-4

他自治体・団体との連携PR事業の推進 絆

- ・友好都市との連携PR
- ・友好都市などにおける物産展示販売PR
- ・他自治体・団体との連携PR
- ・他自治体・団体と共同の情報発信

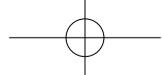
①-5

観光関係団体の支援

- ・「観光物産協会」の活動支援
- ・「ふるさとあわのづくり協議会」、「鹿沼そば振興会」、「焼肉のまちかぬま協賛会」などへの支援
- ・観光関係団体などへの支援

用語解説

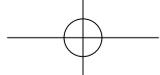
- ・フィルムコミッション：映画などの撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関。
- ・鹿沼ファン：市外在住の“鹿沼が好きな人”と“鹿沼を好きになりたい人”。登録すると鹿沼の旬の情報（花、紅葉、イベントなど）がメールなどで提供される。



②観光案内の充実	②-1	観光サインの充実 ・観光誘導サインの充実 ・観光サインのユニバーサルデザイン化の推進
	②-2	観光人材の育成・支援 絆 New! ・観光アシスタント・観光ボランティアの育成・支援 ・地域内ネットワーク形成支援
③観光イベントの支援とPR	◎ 506 ③-1	鹿沼2大祭りPR事業の推進 絆 ・「さつき祭り」「ぶっつけ秋祭り」の充実 ・「さつき祭り」「ぶっつけ秋祭り」のメジャー化支援
	③-2	祭り・イベントの開催支援 ・各種祭り・イベントの開催支援 ・大型イベントの誘致検討
④楽しく回遊できるまちづくりの推進	◎ 507 ④-1	「まちの駅“新・鹿沼宿”」を拠点とした観光PRネットワークの構築 絆 New! ・「まちの駅“新・鹿沼宿”」拠点機能の充実 ・「市内観光施設情報ネットワーク」による回遊できるまちづくりの促進 ・「まちの駅ネットワークかぬま」の支援と連携
⑤観光資源の充実とPR	◎ 508 ⑤-1	観光資源の公募とPR New! ・市内の観光につながる資源の公募 ・公募資源の観光PRとしての活用
	⑤-2	自然環境の魅力充実 ・前日光県立自然公園の環境保全活動の促進 ・河川環境の美化と保全の促進 ・「川の駅」構想の検討 New!
	⑤-3	歴史・文化の発掘活用 ・歴史文化の観光資源の情報収集と発信 ・まち並み景観の活用 ・回遊もできるコースの設定
	◎ 509 ⑤-4	ニューツーリズム企画事業の推進 New! ・農業、自然、文化を活用したニューツーリズム企画事業の検討

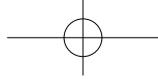
用語解説

- ・ユニバーサルデザイン：年齢・性別・身体的状況・国籍・言語・知識・経験などの違いに関係なくすべての人が使いこなすことができる製品や環境などのデザイン。
- ・川の駅：川及び川沿いの施設であって、休憩、観光、環境、教育などの拠点施設として利用する、流域の情報を共有するためのネットワーク拠点。
- ・ニューツーリズム：従来の旅行とは異なり、旅行先での人や自然とのふれあいが重要視された新しいタイプの旅行。



(3) 観光施設の整備と活用

① 前日光県立自然公園内施設の充実	①-1	「前日光つつじの湯交流館」の管理とリニューアル <ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者との交流、物産販売機能の強化 ・ 管理運営体制の検討 ・ 台東区自然の村との連携検討
	①-2	「前日光ハイランドロッジ」の管理とリニューアル <ul style="list-style-type: none"> ・ 前日光牧場リニューアルに併せた自然体験機能の整備検討 ・ 管理運営体制の検討 ・ 21世紀林業創造の森との連携
	①-3	前日光県立自然公園の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前日光県立自然公園の管理と整備
② 観光交流拠点施設の活用	②-1	「まちの駅“新・鹿沼宿”」の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点施設としての機能充実と情報の発信 ・ 「まちの駅“新・鹿沼宿”」を拠点とした「観光PRネットワーク」の構築（再掲：P168） ・ 観光バスなどの誘致推進
	②-2	観光交流施設の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「屋台のまち中央公園」、「花木センター」、「千手山公園」、「前日光つつじの湯交流館」、「城山公園」、その他観光施設の活用促進
③ 観光施設の整備	③-1	観光施設の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザインを目指した観光施設の整備充実
	③-2	その他地域観光資源の活用検討 New! <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間施設を含む埋もれた観光資源の発掘・活用検討 ・ 地元住民・自治会・関係団体との連携協議 ・ 宿泊機能の充実



(4) 人口対策の推進

①人口対策の推進

①-1

人口対策の総合調整

- ・各種施策の集約化と体系化、施策検討
- ・かぬま暮らし呼び込み隊の総括

①-2

結婚対策の推進

- ・女性相談員などによる各種結婚相談の実施
- ・出会いイベントの実施などによる効果的な出会いの場提供事業の実施

①-3

住宅総合相談（再掲：P152）

- ・永住希望者に対し、その住宅取得に対する支援

①-4

ニューツーリズム企画事業の推進 **New!**（再掲：P168）

- ・農業、自然、文化を活用したニューツーリズム企画事業の検討

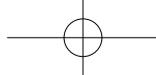
①-5

農業体験事業などによる都市交流推進（再掲：P119）

- ・友好交流都市などの首都圏住民の農業体験を通じた交流の促進 **絆**

施策指標

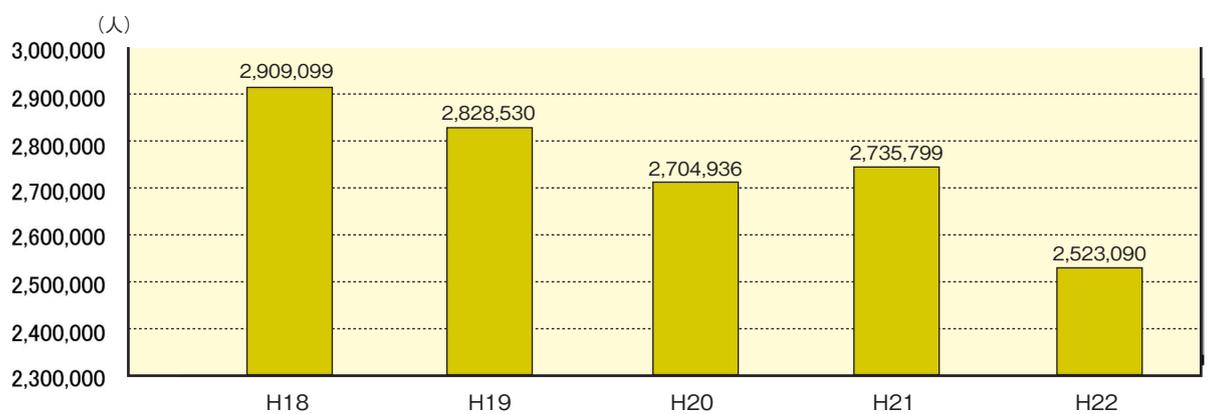
指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
ホームページのアクセス件数	1,333 件 / 日	2,000 件 / 日	
観光客入込数	2,523,000 人	3,000,000 人	栃木県観光客入込数データ
「まちの駅“新・鹿沼宿”」の利用者数	240,000 人※	300,000 人	※基準値は、平成 23 年度推計利用者数



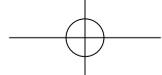
関連する計画

- ・鹿沼市観光振興計画
- ・鹿沼そば振興計画
- ・観光案内ネットワーク計画

◇観光客入込数



(栃木県 観光客入込数・宿泊数推定調査)



2 まちと人をつなぐ都市交流と国際交流の推進

現状

- 友好都市を締結している東京都足立区をはじめ、東京都墨田区や台東区、埼玉県春日部市との相互交流が定着しつつあります。
- 友好都市を締結している中国鉄嶺市やアメリカ合衆国グランドフォークス市などとの交流を継続するとともに、さつきの輸出なども視野に入れた海外都市との交流が盛んになってきました。
- 地域住民の活動範囲の広域化や効率的な行政運営に対応するため、広域連携は大変重要であり、本市においては近隣市町との連携を図ってきました。

課題

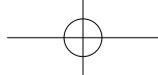
- 今後より一層の相互交流の促進が図れるよう環境の整備を進めるとともに、市民レベルでの交流促進を図るための施策を展開していく必要があります。
- 国際化の進展に伴い、異文化への相互理解や豊かな国際感覚を持つ人材を育成するため、国際理解教育の充実が求められています。
- 海外都市などとの交流は社会情勢の変化に対応することが求められています。幅広く市民が主体となった交流を関係機関や団体と連携して進めることが重要です。
- 環境や福祉、観光、公共交通のネットワーク化など、共通の課題に対する調査・研究や新たな課題への対応のため、広域連携は今後も大変重要となります。

基本方針

- 国内外の友好交流都市などとの交流を、市民や関連団体などが主体となり実施する事業を支援するとともに、経済交流の推進を図ります。
- 本市の魅力や特性をPRし、新たな交流事業の展開による交流人口の拡大を図ります。
- 新規交流都市の開拓を進めます。
- 墨田区との友好交流協定の締結を目指します。
- 地域や学校における国際理解や多文化理解のための事業を推進します。
- 近隣市町との広域連携組織に積極的に参画し、関係市町との連携を強化します。



かぬまワールドフェスティバル



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 都市交流の推進

① 都市交流の積極的な推進

◎ 510 ①-1

都市交流の推進 絆

- ・墨田区との友好交流協定締結 New!
- ・足立区友好都市締結 20 周年記念事業の検討
- ・既交流都市との交流促進
- ・新規交流都市の開拓

①-2

他自治体・団体との連携PR事業の推進(再掲: P167) 絆

- ・友好都市との連携PR
- ・友好都市等における物産展示販売PR
- ・他自治体・団体との連携PR
- ・他自治体・団体と共同の情報発信

①-3

企業間のネットワークづくり支援(再掲: P131)

- ・市内中小企業者と首都圏企業や異業種間のネットワークづくりの推進 絆

② 市民主体の交流促進

②-1

スポーツを通じた都市との交流(再掲: P71)

- ・交流都市とのスポーツ交流の支援

②-2

農業体験事業などによる都市交流推進(再掲: P119)

- ・友好交流都市などの首都圏住民の農業体験を通じた交流の促進 絆

②-3

里山などの保全活動の推進(再掲: P123)

- ・市民参加による里山林の整備の支援 絆

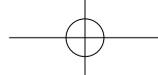
②-4

交流カレッジ事業の推進(再掲: P51)

- ・教師を目指す大学生の指導実習や体験学習の実施
- ・市民と学生との交流による活性化促進

用語解説

- ・交流カレッジ：教育学部系の大学生と子供達との自然体験活動などを通じた指導実習事業。



(2) 国際化の推進

① 国際交流事業の推進

◎ 511 ①-1

国際交流事業の推進 **絆**

- ・友好交流都市訪問団などの受入・派遣事業の実施
- ・市国際交流協会の活動支援
- ・市国際交流協会や関連する団体などとの連携協働による国際交流事業などの推進

①-2

海外における展示会などへの出展支援 **New!** (再掲:P113)

- ・フロリアード国際庭園博覧会（2012年）、韓国順天湾国際庭園博覧会（2013年）出展支援
- ・海外輸出に向けた生産者への支援

② 国際化に対応できる人材の育成

②-1

国際化ボランティアバンクの整備 **絆**

- ・ボランティアバンクの整備

②-2

国際理解教育の推進 (再掲:P51)

- ・国際理解講座の開催

②-3

外国語教育の充実 (再掲:P49)

- ・外国語指導助手の活用
- ・小学校の外国語活動の推進

②-4

海外体験学習の推進 (再掲:P49)

- ・海外友好都市への中学生の派遣

(3) 広域連携の推進と地域間交流の拡大

① 広域連携組織への参画

①-1

広域連携組織への参画

- ・東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会や県央都市圏首長懇談会などの広域連携組織への参画

② 広域連携事業の推進

②-1

広域連携事業の推進

- ・広域観光情報の提供
- ・公共施設の共同利用

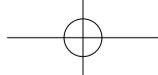
②-2

大学との地域連携事業の促進 (再掲:P87)

- ・大学と連携した、産学官連携事業による知的財産の積極的な活用

用語解説

- ・フロリアード国際園芸博覧会：10年に1度、オランダで開催される国際園芸博覧会。2012年にはフェンロー市において開催される。
- ・順天湾国際庭園博覧会：2013年に韓国順天市で開催される国際庭園博覧会。世界各国の伝統様式庭園などが展示される予定。



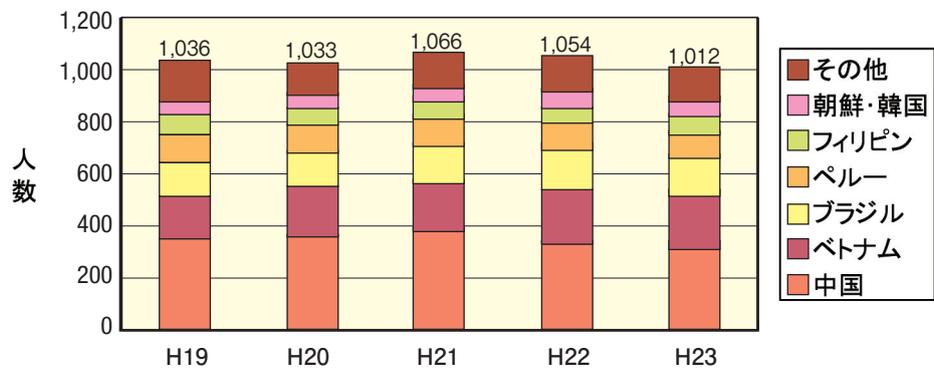
施策指標

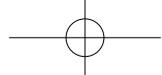
指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
国内交流自治体数	4	6	-
国際交流関係ボランティア登録者数	70人	100人	-
宇都宮大学地域連携事業数	7件	25件	-

関連する計画

- ・かぬま多文化共生プラン
- ・鹿沼市教育ビジョン

◇国籍別外国人登録者数の推移





3 地域を支える情報通信サービスの充実

現状

- 本市では、テレトピア計画を策定し、地域のケーブルテレビ網の整備支援や携帯電話の通信エリアの拡張に取り組んできました。
- 情報環境の充実により、インターネット、Eメールといった情報ツールの利用が広がっています。「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」使えるユビキタスなネットワーク社会は現実のものになろうとしています。
- 市民サービスを提供する上で、ネットワークシステムは不可欠のものとなっておりますが、コストの増大が財政の大きな負担となりつつあります。

課題

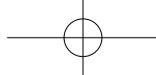
- ネットワークの利便性の向上を図りながら効率的な整備を進めることが求められており、またその適正な管理も必要となります。
- 職員による維持・管理のみならず、データを外部に安全に保管することや外部のシステム利用を進めていく必要があります。
- 東日本大震災のような大規模地震により市庁舎や職員に被害があった場合、住民サービスが停止し、住民生活や企業の活動に大きな障害となるため、非常時にも速やかに業務の継続ができるよう、予め計画を立てておくことが必要となります。
- 個人情報の漏えいや、コンピューターウイルスによるネットワークへの攻撃などが社会問題となっており、市民が安心できる情報セキュリティの環境を整える必要があります。

基本方針

- ケーブルテレビ網の整備支援、携帯電話不感地区・地上デジタル放送の難視聴世帯の解消を推進します。
- 最新のICT技術による経済的で利便性の高い行政情報ネットワークの整備を図りながら、適正な管理を行います。
- ハウジング、クラウドなどのインターネットデータセンター（IDC）サービスの利用を検討します。
- ICT部門の業務継続計画策定を進めます。
- 情報セキュリティ対策に取り組みます。

用語解説

- ・ハウジング：顧客の所有する情報通信機器を預かり、地震に強い環境や安定した電源・通信設備などを提供するサービス。
- ・クラウド（サービス）：ソフトウェアやデータなどをインターネットなどのネットワークを通じて利用者に提供するサービス。
- ・インターネットデータセンター（IDC）：顧客の利用するサーバの管理やインターネットへの接続回線、保守・運用サービスなどを提供する施設。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 地域情報化の推進

① 情報インフラの整備

①-1

ケーブルテレビ普及支援

- ・高速インターネット利用環境の整備促進
- ・地上波デジタル放送受信環境の整備促進

①-2

移動通信サービス普及支援

- ・携帯電話不感地区の解消

①-3

地上波デジタル放送難視聴対策

- ・地上波デジタル放送難視聴世帯の解消

(2) 行政情報化の推進

① 行政情報化の推進

①-1

行政情報ネットワークの適正な管理

- ・サーバやネットワーク機器などの管理と計画的更新

①-2

サーバ運用・管理のアウトソーシング **New!**

- ・ハウジング、クラウドサービスなどの活用検討

② 情報危機管理対策

②-1

ICT部門の業務継続計画の策定

- ・ICT部門における業務継続計画の策定と運用・見直し

②-2

情報セキュリティ対策

- ・コンピューターウイルス対策の実施
- ・ホームページ改ざん防止対策の実施
- ・ユーザー研修の実施

用語解説

- ・サーバ：ネットワーク上で他のコンピュータにファイルやデータなどを提供する機器。
- ・アウトソーシング：「外部委託」。
- ・ICT：Information and Communication Technology の略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネットなど）などの情報コミュニケーション技術のこと。

施策指標

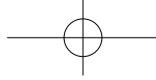
指標名	現状値 (H22)	目標値 (H28)	備考
ケーブルテレビ世帯カバー率	98.9%	100%	—
ケーブルテレビ世帯普及率	47.2%	60%	—
外部サーバ利用率	0%	25%	—

関連する計画

- ・ 鹿沼市テレトピア計画
- ・ 鹿沼市地域情報化計画

◇ケーブルテレビ世帯カバー率、世帯普及率の推移

項目	H13.3	H19.4	H20.4	H21.4	H22.4	H23.4
鹿沼市世帯数	29,549	34,353	34,484	35,140	35,434	35,600
サービス提供可能世帯数	24,298	28,754	33,980	34,651	34,996	35,200
世帯カバー率	82.2%	83.7%	98.5%	98.6%	98.8%	98.9%
テレビ加入世帯数	5,170	11,213	14,419	15,256	15,899	16,610
世帯普及率	21.3%	39.0%	42.4%	44.0%	45.4%	47.2%
インターネット加入世帯数	610	7,991	9,484	10,352	11,276	11,815
インターネット加入率	2.5%	27.8%	27.9%	29.9%	32.2%	33.6%

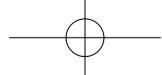


基本計画



パソコン教室

基本目標5 人がふれあうまちをつくる



4 健全で効率的な行政経営

現状

- 本市ではこれまで、第5次鹿沼市総合計画「KANUMA “ステップ・アップ” ビジョン」やその追加修正版である「KANUMA 新・まちづくり実行プラン」、部門別計画に基づき、評価・検証を加えながら、計画的に行政運営を進めてきました。
- 複雑化する行政課題に対応し、市民の安定した生活を守るため、行政改革を進めてきました。
- 長引く景気低迷に加え、東日本大震災の影響などにより市税と税外収入の徴収率が低下傾向にあります。
- 市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、維持管理費、修繕費に多額の費用がかかり施設更新の時期にきています。

課題

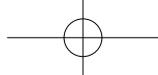
- 複雑化する行政課題に対応しながら、必要な行政サービスを継続的に実施し、市民の安定した生活を守っていくために、計画行政、行政改革の必要性は今まで以上に重要になっています。
- 急激な社会経済情勢の変化に伴う新たな行政課題や多様な市民のニーズに的確に対応するため、実効性のある計画の策定とともに、柔軟で弾力的な計画の推進が求められています。
- 市民サービスの向上のため公共施設の総合的な把握と適正配置、長寿命化が課題となっています。
- 市税と税外収入の徴収率の低下を放置すれば、市民負担の公平性が損なわれ、健全な財政の維持も困難となるため、確実な財源の確保が必要となります。

基本方針

- 第6次鹿沼市総合計画に基づき、計画的に行政を運営するとともに、適正な行政評価を行い、基本計画の着実な推進を図ります。
- PDCAサイクルに基づいた行政経営により、成果や効果を重視した事業の見直し・改善を徹底します。
- 市民が利用しやすい施設を目指し、公共施設の長寿命化・必要水準に見合った維持管理・更新計画を策定します。
- 第4期財政健全化推進計画を推進し、着実堅実な財政運営に努めます。
- 新たな財源確保の方法のひとつとして、ふるさと納税制度を推進します。
- 入札適正化委員会や入札管理委員会を活用した、入札制度の適正化を推進していきます。

用語解説

・PDCA サイクル：計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のプロセスを順番に実施し継続的に業務の改善を推進する手法。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 計画行政の推進

① 総合計画の推進

①-1

基本計画と実施計画の策定

- ・ 毎年度の具体的な行財政計画としての実施計画を策定
- ・ 後期基本計画を策定

①-2

行政評価の推進

- ・ 行政評価システムの改善検討
- ・ 総合計画の着実な推進を図るため、市の政策を評価し事業推進に反映

①-3

部門別計画の推進

- ・ 総合計画をより効果的に推進するため、各部門別の計画を策定

(2) 効率的な行政経営

① 効率的な行政経営

◎ 512 ①-1

成果や効果を重視した行政改革の推進

- ・ 第5期行政改革大綱と行政改革実施計画に基づく行政改革の推進
- ・ 行政コストの削減、市民サービス向上のための民間活力の活用
- ・ P D C Aサイクルを基本とした事業の実施と事務事業の見直し・改善

◎ 513 ①-2

公共施設再配置計画の策定 **New!**

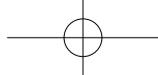
- ・ 公共施設の長寿命化・必要水準に見合った維持管理・更新計画の策定

② 入札の適正化、効率化

②-1

入札適正化、効率化の推進

- ・ 事後審査型条件付き一般競争入札（電子入札）の拡大
- ・ 委託業務入札制度の検討
- ・ 入札適正化委員会の開催



(3) 健全な財政運営

①健全財政の堅持

◎ 514 ①-1

健全財政の堅持

・「第4期財政健全化推進計画」に基づく諸施策の展開

②財源の確保

②-1

使用料、手数料の適正化

・受益者負担の原則に基づき、公共施設などの使用料や行政手続に関する手数料などの公平化、適正化

②-2

ふるさと納税の活用 **絆 New!**

・ふるさと納税制度の積極的な制度の周知、利用促進

②-3

賦課事務の充実と納税促進

・課税客体の的確な把握と賦課事務の充実
・市税徴収率の向上
・税外収入の滞納整理

②-4

市有財産の有効活用

・未利用地の売却などによる財源確保と公有地の貸付などの適正な管理
・公募による自動販売機の導入
・各種有料広告事業の実施

用語解説

・ふるさと納税制度：自分が生まれ育ったあるいは教育を受けたなど、関わりが深く、応援したいと思う自治体へ寄附をした際に、寄附金額に応じて所得税と住民税から一定額の控除を受けられる制度。



施策指標

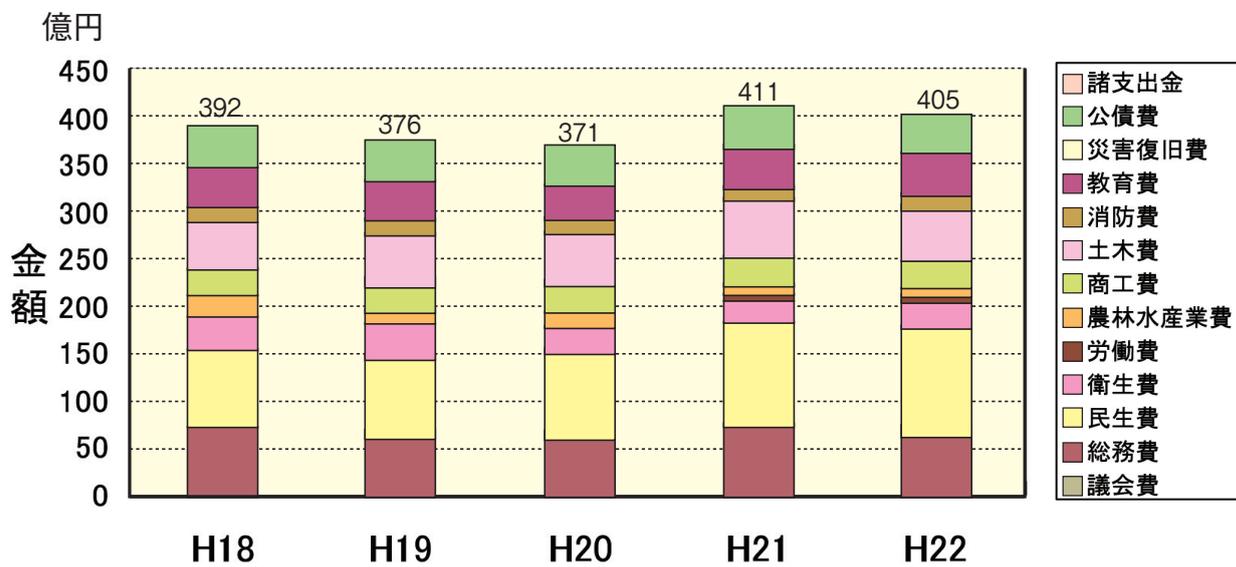
指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
総合計画前期基本計画主要事業実施率	「KANUMA “ステップ・アップ” ビジョン」 主要事業実施率 99.3%	100%	-
市税収納率（現年+滞納繰越）	88.4%	89.0%	-
未利用地の売却・貸付件数など	25 件 / 年	30 件 / 年	-

基本計画

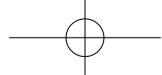
関連する計画

- ・ 第5期鹿沼市行政改革大綱
- ・ 第4期財政健全化推進計画

◇一般会計(歳出)の決算の推移



基本目標5 人がふれあうまちをつくる



5 開かれた市政の推進

現状

- 情報公開制度・個人情報保護制度・行政手続制度など、広く市民に周知され、利用されるようになりました。
- 審議会などの公開やホームページ・パブリックコメントの活用、市長メールや統計調査などの情報収集や提供を幅広く推進しています。
- 様々な行政問題を解決するため、市民と行政がともに知恵を絞り、コミュニケーションを深める取組が進んでいます。
- 市庁舎は、建築から50年以上経過している棟もあり、全般的に老朽化が進んでいます。

課題

- 情報公開制度・個人情報保護制度・行政手続制度の適正な運用を図り、更に周知徹底する必要があります。
- 行政と市民が協働で事業を協議提案するため、幅広い市民の声を把握し、行政施策や市民サービスに適切に反映させなければなりません。
- 市民や社会情勢などの状況を把握すると同時にその情報を広く市民へ提供し、情報を共有する必要があります。
- 市庁舎の老朽化が進んでいるので、施設の耐震性の確保と更新を図る必要があります。

基本方針

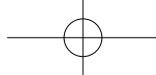
- 市民に関わる様々な制度を見直し、使いやすい制度にするとともに、市民・職員への周知徹底を図ります。
- 市民との情報の共有化や政策形成への市民参加を進めながら、行政内部においてもスリムで効率的な行財政運営を目指します。
- 世論調査、各種アンケート、行政へのメール、パブリックコメント制度などを積極的に活用し、幅広い市民の声を把握し、行政施策や市民サービスに適切に反映させます。
- 市庁舎に耐震補強工事など必要な整備を実施し、安全で市民が利用しやすい施設にします。



広報かぬま

用語解説

・パブリックコメント：市が計画などを策定する際、その案などを市民に広く公表して意見を聴取し、計画などに反映させる手続。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 行政情報の提供

① 行政情報の提供

◎ 515 ①-1

行政情報の提供

- ・「広報かぬま」の発行
- ・ホームページやケーブルテレビを活用した情報発信

①-2

統計情報の整理と活用

- ・基幹統計調査の実施
- ・統計情報の整理・集計・周知

(2) 市民参画による行政の推進

① 市民参画による行政の推進

①-1

市民参画による行政の推進

- ・世論調査、各種アンケート、行政へのメールなどの活用
- ・パブリックコメント制度の積極的な活用

◎ 516 ①-2

市民との対話事業の推進

- ・車座集会、かぬま夢談議などの親しみやすい集会を開催し、市民との対話を推進

①-3

協働のまちづくり推進事業 絆 (再掲：P85)

- ・自治基本条例に基づいた、市民・行政・NPO・企業などとの連携と協働の推進
- ・地域分権型予算や市民提案制度、ふらっと事業による市民を主体とした事業の展開

用語解説

- ・地域分権型予算：地域課題の解決に向けた、地域住民の取組に対し、弾力的に予算を活用する仕組み。



(3) 開かれた市政の推進

① 開かれた市政の推進

①-1

情報公開制度の適正運用

- ・ 情報公開制度の制度改善
- ・ 制度の周知徹底

①-2

個人情報保護制度の適正運用

- ・ 個人情報取扱事務登録簿の見直し及び公表
- ・ 制度の周知徹底

①-3

行政手続制度の適正運用

- ・ 行政手続の見直し改善、処理期間の見直し

①-4

審議会等の公開

- ・ 各ホームページなどで会議日程などを公開

(4) 市民サービスの向上

① 親しみやすい市役所づくり

①-1

窓口サービスの充実

- ・ 親切・丁寧・迅速でわかりやすい窓口サービスの実施
- ・ 窓口の業務時間の延長、休日窓口の開設
- ・ 外国人住民の窓口サービスの推進

①-2

各種相談業務の実施（一部再掲）

- ・ 市民生活・行政・人権・消費生活・教育・女性・結婚・外国人などの各種相談の実施

◎
517 ①-3

職員の人材育成

- ・ 市民ニーズに対応した職員の人材育成

② 安全で市民が利用しやすい施設の整備

②-1

公共施設再配置計画の策定 **New!**（再掲：P181）

- ・ 公共施設の長寿命化・必要水準に見合った維持管理・更新計画の策定

②-2

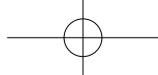
市庁舎など整備の実施

- ・ 市庁舎の整備・維持管理
- ・ 市庁舎の耐震補強計画の策定・実施
- ・ 公共施設の整備・維持管理

②-3

地区コミュニティセンターの整備（再掲：P85）

- ・ 地区コミュニティセンターの整備（南押原と北犬飼の整備・西大芦の整備検討）



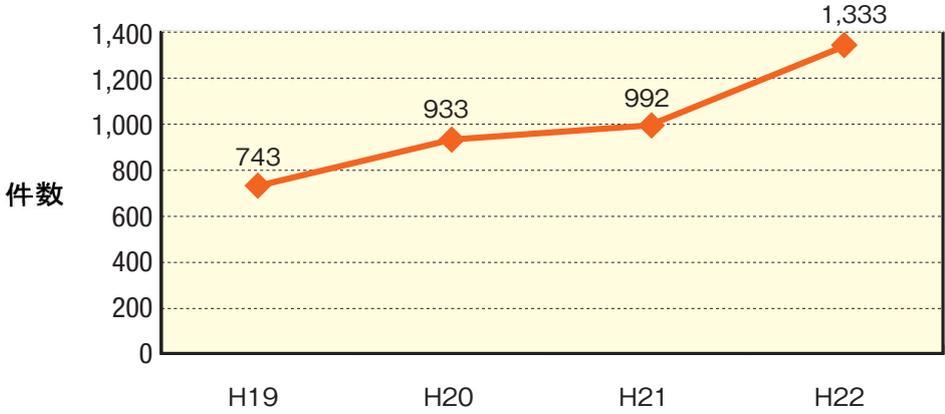
施策指標

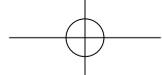
指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
かぬま夢談議開催回数	4回	4回	-
ホームページのアクセス件数	1,333件/日	2,000件/日	-
市役所などのサービスを受けたときの職員の説明の仕方の分かりやすさ	44.2%※	55.0%	※市政に関する世論調査より。

関連する計画

- ・人材育成計画
- ・コミュニティセンター整備方針

◇ホームページアクセス件数(1日)の推移





〈参考資料〉

1. 総合計画審議会

○ 鹿沼市総合計画審議会条例（平成6年3月17日 条例第1号）

（設置）

第1条 市行政を総合的かつ計画的に推進するための指針とする総合計画に関する事項について、市長の諮問に応じ調査・審議するため、鹿沼市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第2条 審議会は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 知識経験を有する者
- (2) 各種団体から推薦を受けた者
- (3) 市議会の議員

（任期）

第3条 委員の任期は、当該諮問に関する調査・審議が終了するまでとする。

（会長及び副会長）

第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

4 審議会の会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

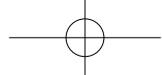
5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

（委任）

第6条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

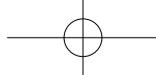
この条例は、平成6年4月1日から施行する。



○ 鹿沼市総合計画審議会委員

(五十音順、敬称略)

氏名	委嘱時の主な役職名
青田 賢之	かぬま市民活動サポーターズ代表
赤津 三男	税理士
阿部 美恵子	とちぎつばさの会 (女性団体代表)
荒井 令子	鹿沼市議会副議長 (平成23年9月まで)
飯塚 正人	鹿沼市議会議長 (平成23年9月まで)
池澤 光男	鹿沼市民生委員児童委員連絡協議会会長 (平成22年12月まで)
石川 昌一	鹿沼市自治会連合会会長 【審議会会長】
入江 正永	鹿沼市文化協会会長
禹 亨澤	《 公 募 委 員 》
大塚 美津子	鹿沼市民生委員児童委員連絡協議会会長 (平成23年1月から)
奥山 明彦	上都賀郡市南部地区医師会代表
瓦井 伸一	鹿沼市消防団長
菊池 千代	鹿沼市親交福祉会会長 (平成23年5月まで)
桐生 勝雄	上都賀農業協同組合専務理事
熊倉 雄一	まちの駅ネットワーク鹿沼代表
黒田 陽子	《 公 募 委 員 》
齊藤 正子	鹿沼市親交福祉会会長 (平成23年6月から)
斎藤 陽子	鹿沼市社会教育委員長
塩澤 保	栗野商工会副会長
鈴木 庸介	鹿沼市生涯学習大学学部長 【審議会副会長】
高橋 トミ	鹿沼市消費生活市民会議会長
高山 輝雄	鹿沼市老人クラブ連合会会長
樽見 正衛	鹿沼商工会議所副会頭
富久田 耕平	鹿沼市議会議長 (平成23年10月から)
中島 要三	鹿沼市体育協会副会長
橋本 正男	鹿沼市議会副議長 (平成23年10月から)
福田 弘之	鹿沼市森林組合代表理事組合長
松島 良子	鹿沼市環境活動推進会議会計
向田 伸一	鹿沼市教育委員長職務代理
矢口 季男	中小企業診断士
谷中 恵子	鹿沼市議会総務常任委員会委員長 (平成23年9月まで)
矢野 省一	きれいなまちづくり推進員協議会副会長
湯澤 英之	鹿沼市議会総務常任委員会委員長 (平成23年10月から)
若松 愛	鹿沼市民間保育園連盟会長
渡辺 章悟	鹿沼市観光物産協会理事



○ 諮 問

総第295号
平成22年11月26日

鹿沼市総合計画審議会会長 様

鹿沼市長 佐藤 信

第6次鹿沼市総合計画の策定について（諮問）

平成24年度から向こう10年間を計画期間とする「第6次鹿沼市総合計画」を策定するにあたり、本計画に対する貴審議会の意見を求めます。

○ 答 申

平成23年6月17日

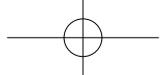
鹿沼市長 佐藤 信 様

鹿沼市総合計画審議会
会長 石川 昌一

第6次鹿沼市総合計画の策定について（答申）

平成22年11月26日付け総第295号をもって「第6次鹿沼市総合計画」の策定にあたっての意見を求められましたが、当審議会における審議の結果、「第6次鹿沼市総合計画基本構想」（案）については、本市の今後の市政運営の指針として適切なものと認められます。

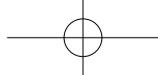
今後速やかに、この案を基本とした構想を決定し、市民に周知するとともに、具体的な施策を明らかにする基本計画を策定し、市民と行政が一体となって、その着実な推進を図るよう要望します。



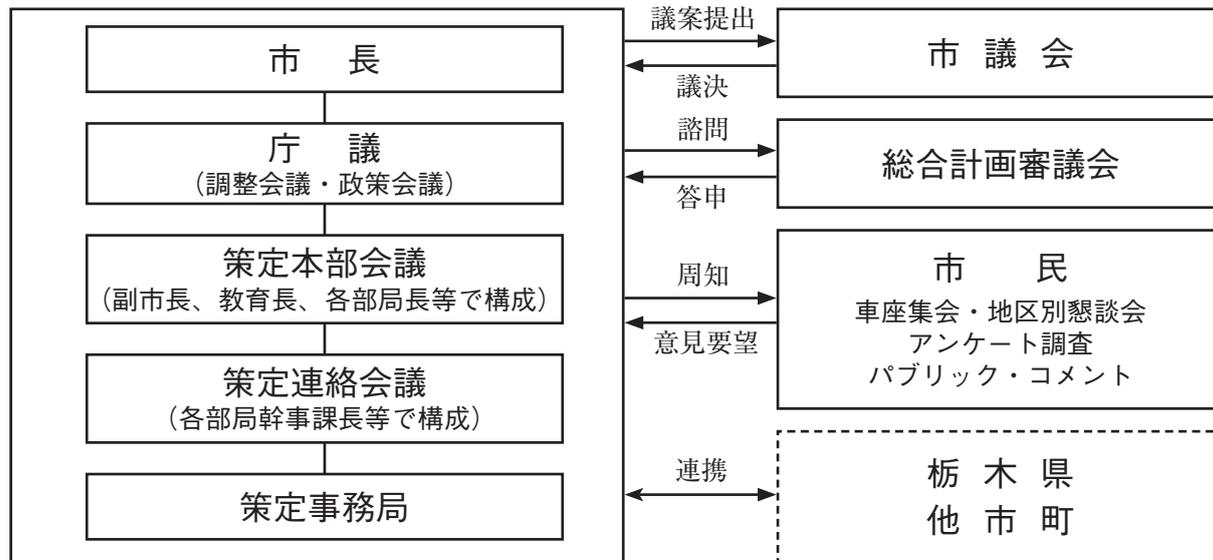
2. 策定経過

○ 経 過

平成21年度	3月	・第6次鹿沼市総合計画策定要領決定
平成22年度	8月	・庁内推進体制発足・・・ 策定本部会議 策定連絡会議 各部会 ・総合計画審議会公募要領の決定及び募集 ・アンケート調査の実施・・・ 市民アンケート 有識者アンケート 職員アンケート
	10月	・総合計画審議会委員の委嘱
	11月	・第1回総合計画審議会・・・ 構想策定について諮問 現計画の推進状況について アンケート調査結果について
	12月	・人口フレーム調査 ・KANUMA “ステップ・アップ” ビジョンにおける進捗状況等調査
	2月	・第2回総合計画審議会・・・ 現計画の達成状況等について 新規施策の検討について 今後の進め方について [分科会の開催]
	3月	・第1回分科会 ※東日本大震災の影響により中止
平成23年度	4月	・第2回分科会（3日間）・・・ 提案項目への対応について （3分科会） 人口フレームについて ・構想案骨子策定作業
	5月	・第3回総合計画審議会・・・ 基本構想（素案）について
	～6月	・車座集会及び地区別懇談会開催・・・全17地区 631名参加 ・基本構想（素案）に係るパブリック・コメント実施 ・第4回総合計画審議会・・・ 基本構想について答申
	7月	・基本計画策定作業
	～12月	
	8月	・市議会において基本構想議決
	11月	・総合計画基本計画（素案）説明会（2日間） ・総合計画基本計画検討会議（2日間）
	12月	・第5回総合計画審議会・・・ 総合計画基本計画（案）について
	1月～	・総合計画基本計画（案）に係るパブリック・コメント実施
	2月	・第6回総合計画審議会・・・ 総合計画基本計画（案）の承認
3月	・市議会において基本計画議決 ・第6次鹿沼市総合計画「ふるさと かぬま『絆』ビジョン」として決定 ・計画書及び概要版作成	



○ 策定体制



◇ 策定本部会議 (23年度)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
副市長〈委員長〉	福 田 康 行	環境部長	熊 倉 操
教育長	角 田 昭 夫	都市建設部長	善 林 頼 和
総務部長〈副委員長〉	大 貫 林 一 郎	水道部長	佐 野 雄 志
財務部長	柴 田 忠	議会事務局長	松 山 裕
市民部長	金 林 敏 幸	教育次長	阿久津 精 一
保健福祉部長	小 森 基 伊	消防長	瓦 井 圭 一
経済部長	福 田 義 一		

◇ 策定連絡会議 (23年度)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
総務部長 (座長)	大 貫 林 一 郎	水道業務課長	佐 藤 孝 典
総務課長	櫻 井 進 一	教育総務課長	小 太 刀 亨
財政課長	水 嶋 俊 彦	会計管理者兼会計課長	石 川 道 也
市民活動支援課長	山 根 徹	議会事務局次長	鈴 木 重 夫
厚生課長	佐 藤 昭 男	監査委員事務局長	鈴 木 正 治
商工課長	齊 藤 潔	選挙管理委員会事務局長	佐 藤 哲 男
環境課長	青 木 一 己	農業委員会事務局長	寺 内 一 夫
都市計画課長	牧 野 忠 行	消防本部総務課長	矢 野 良 一

◇ 策定事務局

役 職	氏 名	役 職	氏 名
企画課長	金 子 正 一	企画課主査	柿 沼 紀 子
企画課長補佐兼企画係長	上 林 浩 二	企画課主査	能 島 賢 司
企画課担当主査	福 田 浩 士	企画課主任主事	川 田 博 紀
企画課担当主査	益 子 則 男		



ふるさと かぬま「絆」ビジョン
2012-2021



川上澄生《風景下野国》1925年（大正14）
所蔵 鹿沼市立川上澄生美術館

平成24年3月

編集・発行／鹿沼市
策定事務局／鹿沼市総務部企画課
鹿沼市今宮町1688-1 TEL 0289-63-2146

